

このように若干の不満感が残ったものの、日本における風による気候景観に関して、多くの事例と問題点を提示した本書の意義は大きい。これらの事例から、読者は大気現象の一種の可視化でもある気候景観の読み解き方を学ぶことができる。そのような眼をもった人々により、環境評価がなされるようになれば、人類の環境認識はより深まっていくであろう。地表環境に対して大気がはたす役割に興味をもつ人や、山好きな人にとくに勧めたい。

(東京大学大学院理学系研究科 松本 淳)

[編集委員会より:「本だな」欄でここに紹介されている本は、今年の8月号の同欄にも別の著者により紹介されています。「本だな」には、「編集委員会から原稿を依頼して掲載」および「会員からの自由投稿も受け付け」の2つの種類がありますことから、今回、同じ本の2回目の紹介の掲載となりました。]



## 日本沙漠学会2000年度秋季公開シンポジウム 「乾燥地域の環境変動—人類誕生から現代まで—」

1. 主催：日本沙漠学会
2. 日時：2000年12月2日(土)13:00~17:00
3. 場所：名古屋大学豊田講堂第一会議室
4. 趣旨：

人類は洪積世後期、アフリカに出現した。その後の移動・拡散を経て、紀元前3500-3000年、ティグリス・ユーフラテス川、ナイル川、インダス川、黄河の流域で4大文明が開花した。現在、これらの地域はいずれも乾燥地域となっている。本シンポジウムでは、乾燥地域の環境変動を、人類誕生から現代までのタイムスケールで人類史・文明史・自然科学の視点から議論する。

### 5. プログラム：

- 13:00~13:05 開会の辞  
嶋田義仁名古屋大学教授
- 13:05~15:30 講演
- 1)「黄砂から見た乾燥地域の環境変動」：  
甲斐憲次氏(名古屋大・人間情報)
  - 2)「沙漠から見た人類史」：  
赤澤 威氏(国際日本文化研究センター)

### 3)「沙漠から見た文明史」：

- 嶋田義仁氏(名古屋大・文学)  
15:30~16:40 総合討論  
導入「モンゴル人から見た砂漠化」：  
楊 海英氏(静岡大・人文)  
16:40~16:45 閉会の挨拶  
吉野正敏筑波大学名誉教授  
17:00~19:00 懇親会(名古屋大学シンポジオン「ユニバーサルクラブ」)

### 6. 参加費：無料。ただし、資料代・懇親会費は当日受付にてお支払い下さい。

### 7. 申込み先：

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院人間情報学研究所  
甲斐憲次  
FAX: 052-789-4257  
email: kai@info.human.nagoya-u.ac.jp  
(電子メールのタイトルは desert)